

3 近海鮪漁場調査

鮪、カジキ類の 游形態、游泳戸及び海況調査を行い以つて該漁業の発展を図らんが為実施したものである。

- 1) 使用船舶 備船 大鳥丸 30 ton 65 HP
- 2) 期間 1959年5月19日至5月28日と6月4日から6月16日迄の二回実施した。
- 3) 調査海域 (別表及別図参照)
- 4) 事業の概要

(1) 延縄試験概況(第一次試験)

月 日	投縄時揚 〃 〃	方向	投縄終揚 〃 〃	所要時	潮流流速	投縄位置	漁具数	揚縄位置	漁獲高	漁獲率
59年 5月21日	05-28 18-07	W SSE	06-55 22-35	1-27 4-28	NE 0.7	26°-29 126°-33	30鉢	27°-37.5 126°-32.5	キダ2クロカワカジ 16 メバチ1メジロサメ 1	4.66%
22日	05-32 19-13	W N	07-05 23-48	1-33 4-35	NE 0.7	26°-30' 126°-38.5	〃	26°-36.5 126°-31.0	キダ2 ラナガサメ 1 シイラ30 サワラ 1	6.66%
23日	06-00 18-05	SW SW	07-55 21-58	1-55 3-53	NE 1.2	26°-32' 126°-18'	〃	27°-4.5 126°-22.0	青ブカ2 サワラ 1 シイラ7 カマス 1	2.44%
24日	08-41 19-57	SSE NNW	10-26 00-40	1-45 4-43	てい たい	26°-48 126°-46'	〃	26°-41.5 126°-4.9	キダ5 サワラ1 バラムシ1 シイラ6 メジロサメ 1	2.88%
25日	05-53 19-31	NW SE	07-34 00-00	1-41 4-29	W 0.3	26°-35' 126°-41'	〃	26°-38' 126°-37.5	カジキ1メカジキ 1 キダ2シイラ43サワラ1	10.66%
26日	06-03 19-19	WNW S	07-44 23-05	1-41 3-44	NNE 0.6	26°-28' 126°-38'	〃	26°-37.5 126°-34.8	キダ2シイラ16サワラ1 メジロサメ 1	4.44%
27日	06-03	WNW NW	07-41 15-30	1-38 2-45	ENE 0.9	26°-40.5 126°-36.0	〃	26°-43.5 126°-40.5	キダ1サワラ1シイラ3	1.11%

(2) 各漁場の漁況並に海況

Lat 26° - 29' N Long 126° - 33' E (投縄位置以下同)

潮流はNEに0.7節の速度で流れ天候は弱い東南東の風で未明から操業終了の夜半まで変化なく水温24.5°Cで昨年より少々低目で透明度30mを示していた。

漁獲高は極めて低調で魚体も小型で餌付は殆んど昼間で夜間の喰付はシイラの一部と饅文だけである。

Lat 26° - 30' N Long 126° - 38' - 30' E

当漁場は日中天候の変化が甚だしく昼頃までは晴間も多く南寄りの軟風が吹き正午から寒冷前線の通過に伴ない北風になり風波も高まつて来たが日没後次第

に恢復に向つた。

潮流、流速、前漁場と変りなく水温 25°C と少々高まり透明度 37m で全漁場を通じて最高を示して居る。

総漁獲率 755% でキハダ鮪 0.44% 、尾長サメ 0.22% 、サワラ 0.22% 、シイラ 6.66% で旗魚の漁獲全然なく、シイラが全漁獲量の 88% を占めているのが目立っている。

Lat $26^{\circ}-52'N$ Long $126^{\circ}-18'E$

暖流域の中心部に当る漁場で水温も 26°C と上昇潮流も速く 1.2 節を観測、漁獲率は一番悪く青ブカ 0.44% 、サワラ、カマス 0.22% 、シイラ 1.55%

総漁獲率 2.44% の低調ぶりであつた。尚、鮪、カジキ類の漁獲は全然なかつた。

Lat $26^{\circ}-48'N$ Long $126^{\circ}-46'E$

潮流殆んど停滞水温 24.5°C と低下、総漁獲率は 288% で低調であつたがキハダ鮪の 1.11% の漁獲は各漁場を通じて最高率を示めしている。又シイラ 1.33% 、メジロサメ 0.22% 、バラムシ 0.22% (標本)のいずれも低調であり、魚体は鱈、バラムシは小型及幼魚でキハダ鮪は大、中、小型入り混つて居り、体長 $120\text{cm}\sim 150\text{cm}$ 以上の組成で夜間の喰付きも認められた。

Lat $26^{\circ}-38'N$ Long $126^{\circ}-30'E$

潮流は微弱なW流で暖流に逆流していて水温も暖流付近と変化なく高温帯が別図の通り入り込んでいて透明度も少々高く 33m を観測した。総漁獲は 10.66% で今回の調査範囲では最高率を示して居るが、シイラの漁獲が目立ち 755% 、マカジキ、メカジキ、サワラ各々 0.22% 、キハダ鮪 0.44% でシイラを除く鮪旗魚類の漁獲は低調である。

Lat $26^{\circ}-28'$ Long $126^{\circ}-38'$

潮流は暖流に沿つて 0.6 節の速さで北東に流れ水温 26.2°C の最高温を示して居る。鮪の漁獲はSt(五)と同率でカジキ類の漁獲全然なく、シイラ 355% 、サワラ、メジロサメ各々 0.22% 、総漁獲率 4.44% の極めて低調である。

Lat $26^{\circ}-40.5$ Long $126^{\circ}-36'$

当漁場は暖流域の縁辺に位し、潮流ENE附近に 0.9 節の速度で流れ漁獲は朝の中にキハダ鮪1尾、シイラ3尾、サワラ1尾、釣獲され日没後まで繩を流せば普通並の漁獲は揚がるものと推察したが、 11 時頃から天候険悪となり正午過ぎ繩揚終了操業打ち切り帰途についた。

(イ) 魚体測定(主として鯖、カジキ類)(1cm以下の端数は切り上げた)

釣獲月日	魚種	体長	性別	熟度	備考
59年5月21日	キハダ	125	♂	Ⅲ	久米島近海での漁獲物
〃	クロカワカジキ	146	♂	Ⅱ	
〃	キハダ	125	♂	Ⅲ	
〃	メバチ	87	♀	Ⅰ	
5月22日	キハダ	146	♂	Ⅲ	
〃	キハダ	150	♂	Ⅵ	
5月24日	キハダ	152	♂	Ⅵ	
〃		115	♂	Ⅱ	
〃	キハダ	130	♀	Ⅲ	
〃	キハダ	124	♂	Ⅱ	
5月25日	キハダ	148	♀	Ⅱ	
〃	キハダ	152	♂	Ⅵ	
5月25日	クロカワカジキ	159	♂	Ⅲ	
	キハダ	120	♀	Ⅱ	
5月26日		168	♀	Ⅲ	
	キハダ	142	♂	Ⅵ	
5月26日	メカジキ	125	♂	Ⅲ	
	キハダ				
5月27日	キハダ	138	♂	Ⅱ	

(ロ) 海況及気象観測

月日	時刻	観測位置	天候	雲量	風向 風力	波浪 うねり	透明度	気温	水温	比重
5月21日	07:00	N 26° -30' E 126° -24'	o	8	ESE 3	3 2	30米	24	24.5	26.25
22日	07:10	26° -30' 126° -20'	Bc	4	S 3	2 2	37〃	25	25	26.59
23日	08:00	26° -46.5' 126° -13'	o	10	N 4	3 3	29〃	24.3	26	26.88
24日	10:30	26° -42' 126° -49'	Bc	7	NNE 3	2 2	32〃	-	24.5	26.66
25日	07:40	26° -40' 126° -34'	Bc	4	NE 2	1 2	33〃	23.8	26.0	26.25
26日	07:55	26° -29' 126° -30'	Bc	6	S/W 2	1 1	32〃	23.7	26.2	26.11
27日	07:50	26° -42' 126° -27'	o	9	S/W 4	3 1	27〃	27	26.1	26.18

(第2次試験)

(1) 試験概況

月日	投縄時 場 ##	方向	投縄終 場 ##	所要時	潮流 流速	投縄位置	漁具 数	揚縄位置	漁獲高	漁獲率
6. 6	10-03	SSE	11-27	1-24	停滞	25°-48.5	90鉢	25°-49'	クロカワカジキ 1尾	0.22%
	19-36	//	23-22	3-46	気味	127°-15.0		127°-17'		
7	5-29	S/E	07-10	1-41	E	25°-50.0	"	25°-49'	"	"
	18-53	//			0.1	127°-45.5		127°-45'		
8	05-00	NNW	07-31	1-31	殆んど	25°-57.5	89"	26°-04'	マカジキ 1"	"
	19-47	SSE	23-40	3-53	ていぶ	127°-57.5		127°-50'		
13	05-16	SSE	6-55	1-39	不明	25°-04.0	"	不明	キハダ 1"	0.45%
	19-50	//	23-30	3-40		127°-45.0			マカジキ 1"	
14	06-35	NNW	7-58	1-23	NNE	25°-21.0	"	25°-45'	マカジキ 1"	0.22%
	19-36	SSE	23-17	3-41	0.2	127°-47.0		127°-46'		
15	05-36	NNW	07-12	1-36	てい	25°-52.0	"	25°-45.5'	"	"
	19-47	SSE	23-20	3-33	たい	127°-47.0		127°-49.0'		

(2) 漁況及海況

漁獲は前記第一表に示した通り全調査海域共に大して見るべきものがなく、函南曾根附近(S t 4)にて僅かに0.45%を示した丈で他漁場はどれも0.22%の低調ぶり、尚魚体も殆んど小型であった。

水温は知念岬南東方近海で24.8℃で最も低く喜屋武岬沖合で最高26.2℃を示し久米島近海と余り変化は認められなかつた。

鯨類の釣獲は5~6月を通して久米島近海が割合に良く喜屋武沖合は時季的に今だ少々早い様に考えられた。

魚体測定 (方法前回同様)

魚種	体長	性別	熟度	備考
クロカワカジキ	116cm	♂	II	
マカジキ	137cm	♂	I	
ク	175cm	♀	II	
キハダ	132cm	♂	III	
マカジキ	140cm	♂	II	
マカジキ	125cm	♂	II	
クロマグロ	不明	♀	VI	イルカの大群に喰潰され、頭骸骨と卵巣の一部が、あがつてきたのを調査した。

気象海況観測

月日	時刻	観測位置	天候 雲量	風向 風力	気温	水温 比重	透明度	波浪 うねり	備考
6	6	11-35	25°-44 127°-10	Bc 4	SW 2	27°C 25.5 26.32	42m	1 3~4	比重は換算済み
7	7-15	25°-44 127°-47	o 10	SE 2	26 25.7 23.7	35	2 3		
8	7-40	26°-04 127°-50	c 8	NW 3	25 24.82 26.3	32	2 2		
13	7-00	24°-57 127°-48	Bc 3	SW/S 3	27.2 26.5 26.0	30	2 2		
14	7-00	25°-37 127°-44	Bc 6	SSW 4	27.0 26.2 26.31	32	4 3		
15	7-15	25°-45.5 127°-49.0	Bc 7	SSW 3	26.5 26.2 25.54	36.5	3 3		

所感 (第一・二次試験)

黒鮪について

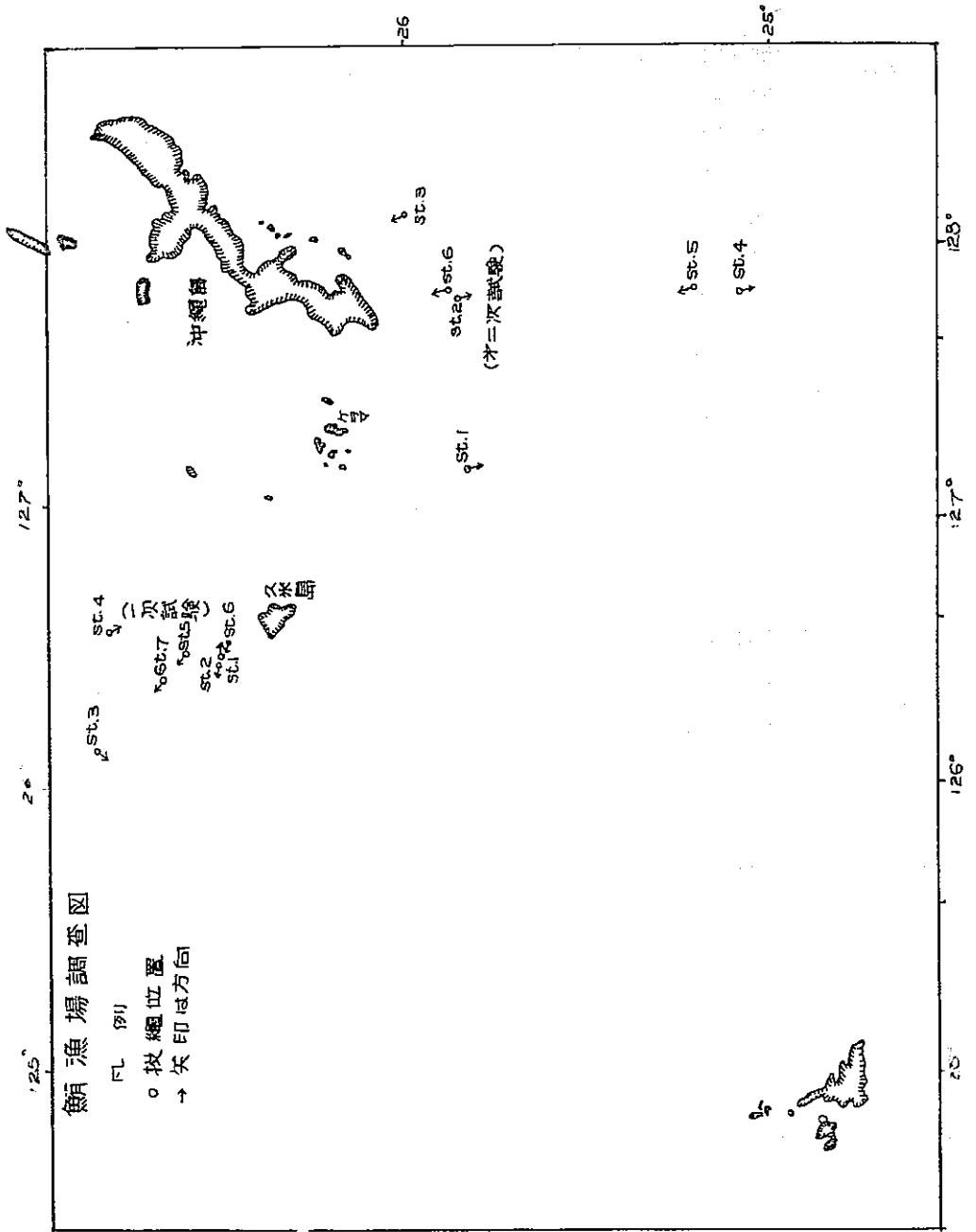
今年度の黒鮪の回游は琉球全海域共に少く漁獲率も低下して居る。市場水揚も昨年を下廻っている。又来游期も1ヶ月位遅れている様である。卵巣は発達して居り昨年同様成熟卵を有して居るが産卵状況は探索出来なかつた。水温は平年位で潮流が処に依り暖流との逆流が認められ魚群の来游或は喰付に何等かの影響をもたらしたものと推察したが断定出来ない。

シイラ(シイラ)の回游

シイラの漁期は黒鮪より1ヶ月早く終了期は略々同期であるが今年は魚群の来游が少なく漁獲率も昨年の半減並であり黒鮪の来游条件と関連性があるかの様に推察される。

延縄構成について

従来同様な構成で試験したが、昨年の一・二・三 今年の一・二次試験に見る如く一般的に上層漁即ちシイラ、鱈、旗魚類の漁獲が目立つて居り、鮪の釣獲はい



鮭漁場調査図

- FL 例
- 採網位置
- 矢印は方向

st. 4
 二次試験
 st. 7
 st. 5
 st. 2
 st. 1
 st. 6

石川島

沖繩島

st. 3

st. 6
 (才二次試験)

st. 1

st. 5

st. 4